

# 校内授業研究の充実

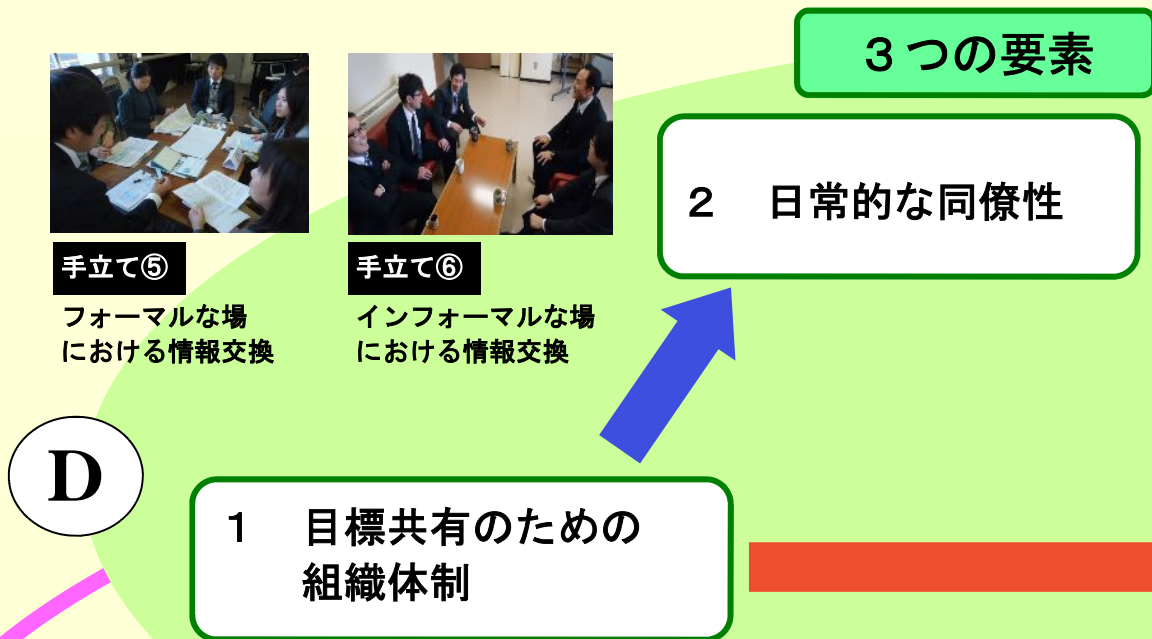
## 3つの要素と9つの手立て



- I 校内授業研究の充実のために
  - ・ 3つの要素と2つの道筋
- II 9つの手立て
  - 1 目標共有のための組織体制
    - ① 研究主題の具体化・理解・共有
    - ② 手立ての具体化・理解・共有
    - ③ 多くの人が参画できる柔軟な組織づくり
    - ④ 成果と課題の見える化・連続化
  - 2 日常的な同僚性
    - ⑤ フォーマルな場における情報交換
    - ⑥ インフォーマルな場における情報交換
  - 3 子どもの積極的理解
    - ⑦ 子どものつまずきの把握
    - ⑧ 授業における子どもの事実の見取り
    - ⑨ 見取った事実からの推論
- III 自校の実態をとらえてみよう  
(校内授業研究診断・評価指標)

# I 校内授業研究の充実のために

- サテライト研修指定校の協力を得て、各学校で行われている授業研究が「もっと成果が出るように」「もっと子どもや先生の力が付くようになるにはどうすればよいか」等について、調査研究を行いました。その結果、「授業研究の効力感」を感じるようにするには下の図の1から3の3つの要素が関係することが分かりました。また、3つの要素には順序性があり、2つの道筋として示されることも分かりました。
- また、3つの要素を強化するための取組として、サテライト研修指定校で実践し、有効であった手立てを9つに分類・整理しました。  
手立ての具体的事例をp. 3から紹介していますので各学校の実態に合わせて実施してみましょう。



**手立て①**  
研究主題の具体化・  
理解・共有



**手立て②**  
手立ての具体化・  
理解・共有



**手立て③**  
多くの人が参画できる  
柔軟な組織づくり



**手立て④**  
成果と課題の  
見える化・連続化

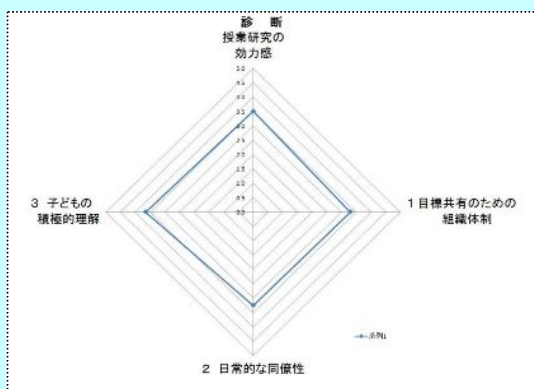
## 「診断」

校内授業研究をより充実させていくために学校の現状を把握します。自校の取組むべき課題を、3つの要素のバランスから判断しましょう。

**P**

要素	NO	課題	1	2	3	4	5
授業研究の 活性化	1	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	2	先生、授業研究を通じて、子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	3	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	4	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	5	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	6	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	7	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	8	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	9	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	10	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
授業研究の 活性化	11	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	12	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	13	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	14	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	15	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
授業研究の 活性化	16	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	17	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	18	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	19	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	20	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
授業研究の 活性化	21	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	22	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	
	23	先生、授業研究を通じて、実践研究を推進する中で子どもや先生、保護者の力を活かすことについて、具体的な取組を推進する。	2	3	4	5	

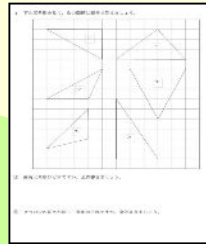
1 回目を実施



集計してレーダーチャート作成

要素	手立て
1 目標共有のための組織体制	①研究主題の具体化・理解・共有
	②手立ての具体化・理解・共有
	③多くの人が参画できる柔軟な組織づくり
	④成果と課題の見える化・連続化
2 日常的な同僚性	⑤フォーマルな場における情報交換
	⑥インフォーマルな場における情報交換
3 子どもの積極的理解	⑦子どものつまずきの把握
	⑧授業における子どもの事実の見取り
	⑨見取った事実からの推論

### 3 子どもの積極的理解



手立て⑦

子どものつまずきの把握



手立て⑧

授業における子どもの事実の見取り



手立て⑨

見取った事実からの推論

#### 道筋2

校内授業研究の推進体制の充実により教員同士の同僚性が高まり、子どもの状況の理解が深まることにより、授業研究の価値を実感する。

## 授業研究の効力感

#### 道筋1

校内授業研究の推進体制の充実により授業研究の価値を実感する。

C

### 「評価」

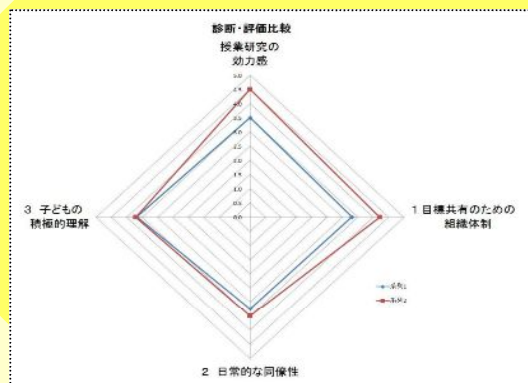
年間を通して授業研究への取組がどうであったかを評価し、1年間の取組の振り返りをします。

A

次年度へ向けての取組の見直し

診断指標と比較

変容が見られない要素が課題になります。



集計してレーダーチャート作成

項目	NC	評価	1	2	3	4	5
1	1	1	2	3	4	5	6
2	1	1	2	3	4	5	6
3	1	1	2	3	4	5	6
4	1	1	2	3	4	5	6
5	1	1	2	3	4	5	6
6	1	1	2	3	4	5	6
7	1	1	2	3	4	5	6
8	1	1	2	3	4	5	6
9	1	1	2	3	4	5	6
10	1	1	2	3	4	5	6
11	1	1	2	3	4	5	6
12	1	1	2	3	4	5	6
13	1	1	2	3	4	5	6
14	1	1	2	3	4	5	6
15	1	1	2	3	4	5	6
16	1	1	2	3	4	5	6
17	1	1	2	3	4	5	6
18	1	1	2	3	4	5	6
19	1	1	2	3	4	5	6
20	1	1	2	3	4	5	6
21	1	1	2	3	4	5	6
22	1	1	2	3	4	5	6

2回目を実施

## Ⅱ 9つの手立て <1 目標共有のための組織体制>

### 手立て① 研究主題の具体化・理解・共有

目標の共有を図るためには研究主題を具体化することが大切です。具体化とは、主題が達成された子どもの姿をイメージできることです。そのためには、教員一人一人がイメージの共有を図る必要があります。

#### ア 研究主題の具体化（例）

確かな学力を身につける算数科授業の創造  
～学びを実感できる学習の工夫を通して～

具体化

数学的な思考力・表現力を育てるための算数科授業の創造  
～つけたい力の明確化と評価の工夫を通して～

さらに具体化

帰納的に思考・表現させるための算数科授業の創造  
～単元ごとのルーブリックの作成とプレテスト・ポストテスト実施を通して～

研究主題を設定するには、教員全員が具体的なイメージをもって取り組めるよう目的や手段を明確に設定することが大切です。

#### イ 共有のための話合いの仕方（例）

研究主題から具体的な子どもの姿を考え、各個人でイメージを付箋紙に書き出す。

研究主題



Aグループ

Bグループ

Cグループ

具体的な姿 ①

具体的な姿 ②

具体的な姿 ③

カテゴリに分ける

意見交流

グループごとに発表する。

必要であれば研究主題の見直しをすることもある。

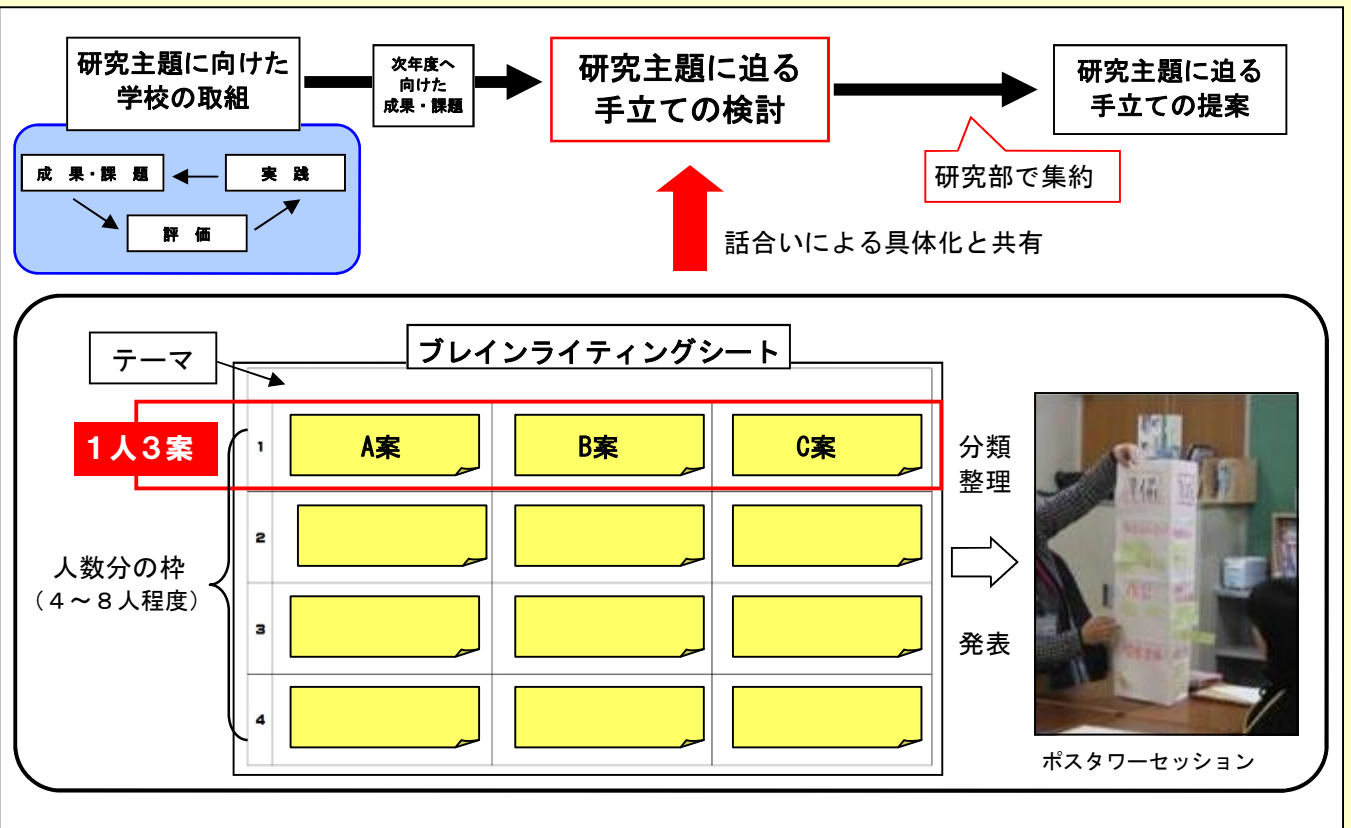
研究部で集約

手立ても一緒に考えるとよい。

一人一人の考えを出し合い交流することで目指す子どもの姿が具体的に、全員がイメージを共有することができます。

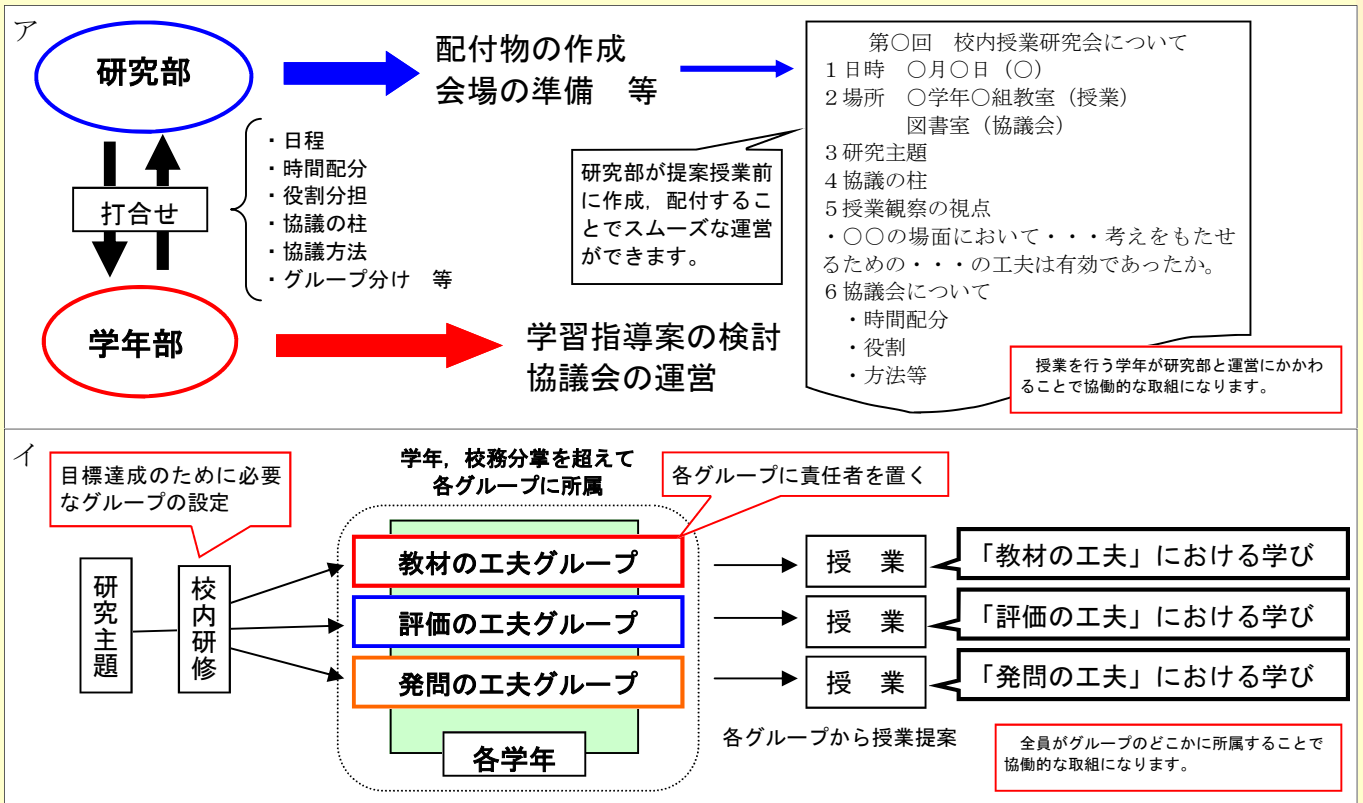
### 手立て② 手立ての具体化・理解・共有

教育研究を推進するために教員一人一人が「手立て」を明確に理解し、共有する必要があります。そのためには具体化のための手続きが重要です。



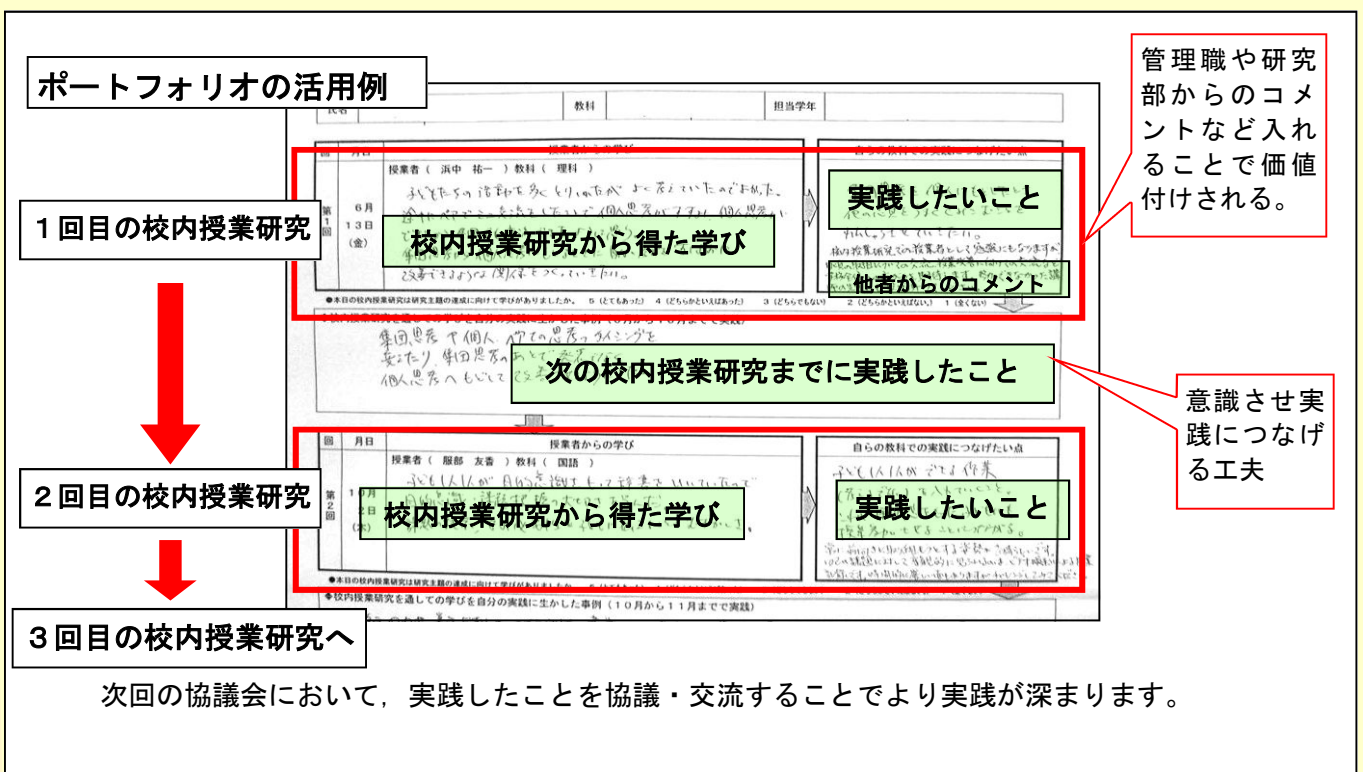
## 手立て③ 多くの人が参画できる柔軟な組織づくり

一人一人の教員の参画意識を高めるには、分掌や学年の役割に固執せず、それぞれの得意分野を生かしてかわる場や役割の工夫をすることが大切です。



## 手立て④ 成果と課題の見える化・連続化

校内授業研究の学びを日々の実践に生かすためには、協議会で確認された成果と課題を常に意識できるような仕掛けが必要です。例えば、成果と課題を研究通信にして配付したり、協議会のまとめを掲示したりして「見える化」することが大切です。さらに一人一人が、校内授業研究で得た学びをポートフォリオ等を活用し、記録することで「連続化」の意識をもたせることが授業改善につながります。

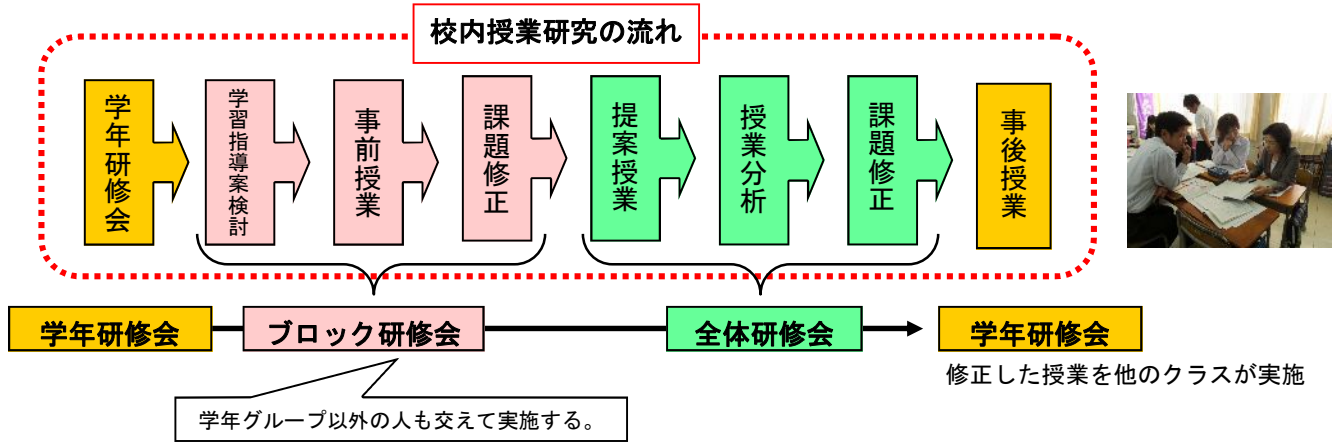


## Ⅱ 9つの手立て <2 日常的な同僚性>

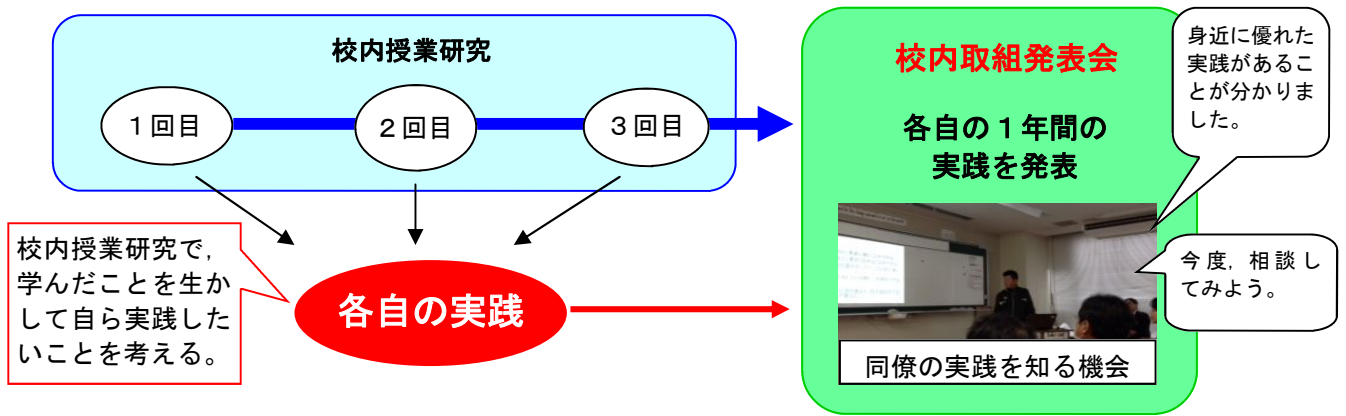
### 手立て⑤ フォーマルな場における情報交換

提案授業の後の協議会の時だけでなく多様な場を設定して意見交換ができるシステムづくりが、協働性・同僚性を向上させます。

【事例1】 校内授業研究に他学年もかかわれる場を設定したり、事後に提案授業の修正授業を行ったりして、情報交換を促す例です。



【事例2】 1年間の取組を発表する場を設け、効果的な取組事例を交換共有する例です。



### 手立て⑥ インフォーマルな場における情報交換

職場においては、日常的に立場を超えて多様な情報交換を行い、その中で授業づくり等についての有益な会話のきっかけをつくるのが大切です。

#### 【例1 学級へ行こう週間】

○積極的に他のクラスの授業参観を行うことで、授業のすすめ方や学級経営の様子を学び合うことができます。

#### 【例2 掲示板を使って】

○付箋に良かったことや感謝の気持ち等を書いて掲示板等に貼ることでお互いの気持ちを可視化、共有できます。

#### 【例3 ランチミーティング】

○長期休業中等、教科や校務分掌で集まり、昼食会を開きます。何気ない会話を通してお互いを知るきっかけやつながりができ、今後の情報交換の活性化につながります。

- 何でも話せる雰囲気づくりや、話しやすい環境づくりが教職員間のコミュニケーションを促進します。

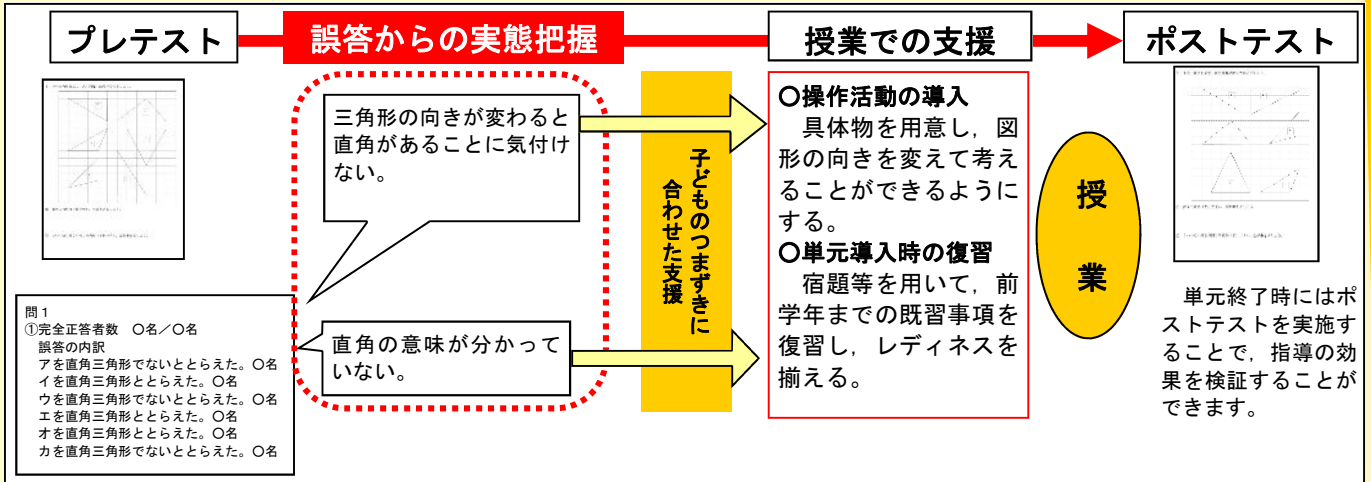


互いに何でも話せる雰囲気づくり  
(談話スペースの設置等)

## II 9つの手立て <3 子どもの積極的理解>

### 手立て⑦ 子どものつまずきの把握

授業は、子どもにどんな力を付けたいのか、つまり、「ねらい」を明確にすることが大切です。そのためには、単元に入る前に事前の理解状況をプレテスト等により把握する必要があります。その事が、指導の工夫・焦点化を図ることにもつながります。



### 手立て⑧ 授業における子どもの事実の見取り

研究授業では子どもの発言、表情、態度、記述内容、つまり、「子どもの学びの事実」に着目することが大切です。

協議会では、児童生徒の座席表をもとに、(ア)のように参観者が見取るグループを分担し、(イ)のような見取る観点を事前に示しておくことが大切です。子どもの発言内容だけでなく、表情、態度、記述の状況に着目することで、学びの姿を抽出することにつながります。

**(ア) 見取るグループを分担**

**(イ) 見取る観定の明示**

課題設定は生徒の実態に合っていたか。
協同学習の設定は本時のねらい達成の手立てになっていたか。
コミュニケーション力のもとになる自分の考えが文章で表れていたか。

※異なる色の付箋紙に記入する方法もよく用いられています。

**発言**

**態度**

**表情**

**記述内容**

*Point!*

子どもの学びの「事実」に着目

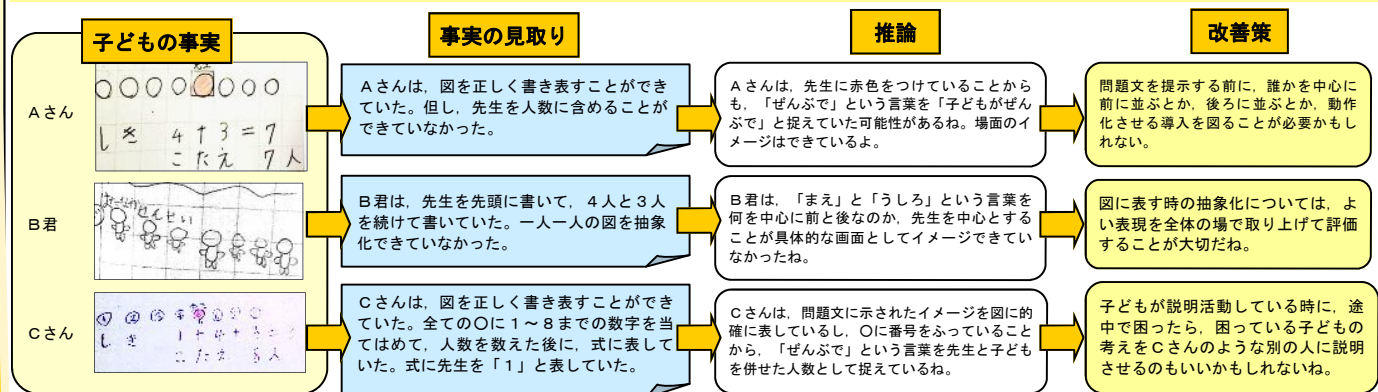
### 手立て⑨ 見取った事実からの推論

協議会では、手立て⑧で抽出した「子どもの学びの事実」を根拠に、その背景を探る推論を重ねていくことが重要です。この際、事前の子どもの実態把握をしておくことが参考になります。

小学校第1学年算数科「ずをつかかってかんがえてみよう」の研究授業での「子どもの学びの事実」の見取り方、推論の実際等を具体的な場面で考えてみましょう。「事実」と「推論」、「改善策」を関連させることが大切です。

小学校第1学年算数

【問題】「バスに人がならんでいます。先生のまえに4人います。先生のうしろに3人います。ぜんぶでなんならんでいますか。」



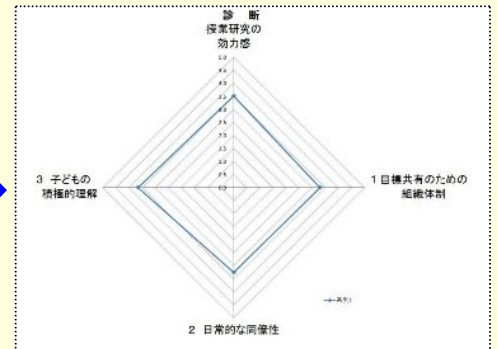
### Ⅲ 自校の実態をとらえてみよう

この「校内授業研究診断・評価指標」は、校内授業研究の現状と成果を検証するために作成したものです。回答を集約し、各項目の平均値がレーダーチャートで現れるように設定しています。教育センター内部Webに掲載していますので、校内授業研究に取り組む前と取り組んだ後に実施し取組の成果を検証してみましょう。

#### 【「校内授業研究診断・評価指標」】

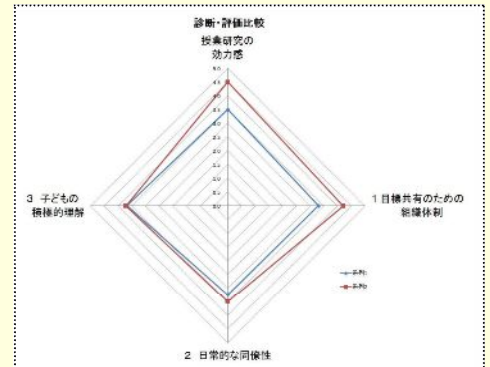
要素	NO	項目	あてはまらない	あてはまるとはいえ	どちらでもない	あてはまるといえる	あてはまる
授業研究の効力感	1	私は、授業研究を通して、教材研究を熱心に行うようになった。	1	2	3	4	5
	2	私は、授業研究を通して、子どもたちのふるまいに対する理解に変化があった。	1	2	3	4	5
	3	私は、授業研究を通して、授業研究をした教科の価値を見出すことができた。	1	2	3	4	5
	4	私は、授業研究を通して、子どもたちの学習状況に対する理解に変化があった。	1	2	3	4	5
	5	私は、自校の授業づくりのポイントを理解して授業を行うようになった。	1	2	3	4	5
	6	私は、今後、機会があれば授業提案をしてもよいと考えている。	1	2	3	4	5
	7	自校では、研究主題が達成されたときの具体的な子どもの姿がイメージできている。	1	2	3	4	5
	8	自校の子どもたちは、授業研究を通して、変容した。	1	2	3	4	5
	9	私は、次の協議会までに、協議会で出た成果を生かし自らの授業で取組もうとしている。	1	2	3	4	5
目標共有のための組織体制	10	自校では、協議会后、協議会での「課題」を、全員で再認識する方法がある。	1	2	3	4	5
	11	自校では、協議会后、協議会での「成果」を、全員で再認識する方法がある。	1	2	3	4	5
	12	自校では、提案授業を構想する際に、前回の協議会で出た成果や課題を受けて学習指導案を作成している。	1	2	3	4	5
	13	自校では、円滑な授業研究に向けて、全体が機能している。	1	2	3	4	5
	14	自校では、前回までの協議会での課題を受けて協議会を改善している。	1	2	3	4	5
日常的な同僚性	15	自校では、研究主題を達成するための手立てが共有されている。	1	2	3	4	5
	16	自校では、日頃から、同僚に実践や悩みについて相談している。	1	2	3	4	5
	17	私は、同僚と授業や子どものことについて気兼ねなく話をしている。	1	2	3	4	5
	18	自校では、日頃から、授業の指導方法や教材について話をしている。	1	2	3	4	5
子どもの積極的理解	19	私は、協議会での同僚の発言から学ぶことがある。	1	2	3	4	5
	20	私は、子どもたちの発言の裏にある気持ちや考えを読みとろうとしている。	1	2	3	4	5
	21	私は、子どもたちの表現しきれない気持ちや考えを推し量ろうとしている。	1	2	3	4	5
	22	私は、子どものつまずきの状況を見取ろうとしている。	1	2	3	4	5

#### 【1回目：課題を見つける】



### <実践>

#### 【2回目：1年間の取組を評価する】



- 【研究指導者】 広島経済大学教養教育部 准教授 胤森 裕暢  
 広島大学大学院教育学研究科 准教授 木下 博義
- 【研究者】 研修1部  
 主任指導主事 粟村 美苗 指導主事 藪田 知子 指導主事 福原 宏  
 指導主事 長屋 吉輝 指導主事 西田 理恵
- 研修2部  
 指導主事 石原 政信 指導主事 戸田 美鈴 指導主事 大上 隆之  
 指導主事 城子 勇志 指導主事 川口 大輔
- 【研究協力校】 広島市立舟入小学校 広島市立井口台小学校 広島市立川内小学校 広島市立五日市観音西小学校  
 広島市立吉島中学校 広島市立段原中学校 広島市立白木中学校 広島市立五日市観音中学校
- 【編集・発行】 広島市教育センター  
 〒732-0068 広島市東区牛田新町一丁目17番1号  
 TEL (082) 223-3563 FAX (082) 223-3580 E-mail: center@e.city.hiroshima.jp  
 外部Web : http://www.center.edu.city.hiroshima.jp  
 内部Web : http://192.168.9.12